

## 「食べるということ」

校長 安藤 徹



10月に入り、4月から始まった令和4年度も半分が過ぎました。季節も少しずつ「秋」らしくなってきました。

ところで、みなさんは「〇〇の秋」と聞いて、〇〇にどんな言葉を入れるでしょうか？食欲、果物、スポーツ、読書、すいみん・・・などなど、いろいろな言葉が思い浮かんできます。思わず欲張ってたくさん言葉を入れたくなくなってしまいますね。それだけ「秋」という季節がどんなことをするにも最適な季節だということなのかもしれません。この季節を大切にしたいものです。

岩戸養護学校の10月にもいろいろな行事が予定されていて、1年生の防災宿泊学習や3年生の実習、そして2年生も11月の実習に向けた事前学習など盛りだくさんです。どうか、一つひとつの行事にゆっくりそしてじっくりと取り組んでほしいものです。

さて、岩戸養護学校の全校給食開始からも6か月たちました。生徒たちの様子からも、4月頃に比べずいぶん「給食時間の流れ」に慣れてきたように思います。さらにこれから先はコロナ禍も落ち着き、この給食を通して「食べることの楽しさ」や「食や食文化への興味や関心」を感じながら、みんながわいわいがやがやと笑顔で給食を食べられるようになるとよいと思っています。



ところで私たちはいつもほとんど何も考えることなく、この「食べる」という行為を毎日繰り返しています。10年ほど前から食事が十分に食べられない子どもたちのために「子ども食堂」の輪が広がったり、世界的な規模での食品ロスや相反する飢餓の問題があったり、「食」への関心が以前に比べかなり高まってきています。

私は「食べる」ということを考える時に思い出す言葉があります。それはアメリカのオバマ元大統領のミッシェル夫人の言葉で、「**You are what you eat**」という言葉です。この言葉はミッシェル夫人がアメリカで健康的な食習慣を広めるためにスローガンとして掲げたものと言われていますが、直訳すると「あなたは、あなたが食べるものでできている」とか「食べているものであなたの人となりがわかる」ということであえて日本のことわざ的な翻訳であれば「食は人なり」ともいえるような言葉です。

まさしく「食」はその人、つまりその人の身体を形作っていますが、ミッシェル夫人の言葉のとおり「その人の考え方や価値観や人生観も形作っている」ということも間違いではないと思っています。



さて、岩戸養護学校でも服部栄養教諭をはじめ給食に携わっている多くの方が「給食にどんな食材を選んで、どう調理して、どう味わってもらえば生徒が喜ぶか」「この食事でどんな反応が生徒たちからあるか」ということを一生懸命考え、計画的な「食」の取り組みを年間通じて行っています。それが毎月の献立表となり生徒の皆さんに届いているのです。給食が始まって半年、好みの食事、ちょっと苦手な食事、人それぞれ好みはいろいろあると思いますが、給食を貴重な時間ととらえ、給食を通して「自分の食のスタイル」について考える一つのきっかけにしてほしいと考えています。

「**You are what you eat**」(食は人なり)・・・皆さんがこれから健康に幸せに生きていくうえで、心にしっかりきざんでほしい言葉です。

令和4年10月1日